

各位

2002年7月16日

会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 取締役社長 増倉一郎
 コード番号 8233

2002年6月度 高島屋営業報告

主要店舗および広域事業売上高前年増減率

	売上高増減率(%)	入店客数増減率(%)	営業日数増減数
東京店	0.3	0.5	+1日
横浜店	2.7	3.9	±0日
新宿店	3.2	3.8	±0日
関東9店計	1.5	0.9	
大阪店	4.4	8.8	±0日
京都店	4.8	1.7	±0日
関西9店計	0.5	3.2	
全店計	1.1	0.9	
法人事業	15.9		
通信販売事業	13.3		
広域事業(店外)計	31.7 (14.6)		
合計	2.7 (0.4)		

各店の売上高増減率は、店頭ベース。

関東9店=東京、横浜、新宿、玉川、立川、大宮、柏、高崎、港南台
 関西9店=大阪、和歌山、京都、洛西、堺、泉北、岡山、岐阜、米子
 建装事業は、別会社化にともない2001年9月より広域事業から除く。
 ()内は前年数字より建装事業を除いた実質増減率。

商品別売上高前年増減率(百貨店協会商品区分)

紳士服・洋品	2.2
婦人服・洋品	1.2
子供服・洋品	7.0
その他の衣料品	3.5
衣料品計	1.1
身の回り品	1.0
家具	48.0
家電	17.7
その他の家庭用品	2.0
家庭用品計	23.4
食料品	1.8
食堂・喫茶	5.0
雑貨	1.8
サービス	3.4
その他	0.7
合計	2.7

概況

百貨店事業	<p>売上高はワールドカップ開催による入店客数の減少や月央以降の天候不順等による季節衣料品の伸び悩みはあったものの、日曜日の1日増に加え、継続的な改装効果を発揮している新宿店、京都店、堺店(+15.0%)や、食料品フロア・食堂街を改装した横浜店、婦人雑貨フロアを改装した東京店等の店舗が堅調に推移し、全店計では3ヵ月ぶりに前年をクリアした。</p> <p>商品別では、婦人雑貨(+3.9%)、食料品(+5.1%)が引き続き堅調な動きを見せた他、ジュニア向け衣料が牽引した子供服・ベビー用品(+7.5%)や宝飾品(+5.5%)等も好調に推移した。一方、主力の婦人服(0.7%)や紳士関連(紳士服:0.9%、紳士雑貨:1.2%)については低調であった。</p>
広域事業	<p>法人事業は大口受注の不調等で、また、通信販売事業も主力である衣料品やリビング用品等の不振により、ともに前年を大幅に下回った。</p> <p>前年の建装事業売上分を除く実質ベースでは14.6%。</p>

以上